

コラムでスタディ!

No.27

ご存知ですか?

“かかりつけ薬剤師”・“薬局”



「かかりつけ薬剤師」とは…?

薬による治療のこと、健康や介護に関することなどに豊富な知識と経験を持ち、患者さんや住民のニーズに沿った相談に応じることができる薬剤師のことで、皆さんご自身が選択するものです。

「かかりつけ薬局」とは…?

「かかりつけ薬剤師」がいる薬局のことで、一つ決めておくことをおすすめします。

皆さんが使用する薬を一つの薬局でまとめて管理すると、複数の医療機関から同じ薬が処方されていることに気づいたり、相互作用^(※)が起きるのを防ぐことができるからです。(※)注意を要する飲み合わせ

薬局では、処方せんによる調剤のみならず、市販薬や健康食品の取り扱い、介護関連商品の相談なども行っています。たとえば、かぜのひきはじめや発熱したときに、薬剤師が症状に合わせて適切な市販薬を選ぶお手伝いをしたり、医療機関への受診をおすすめすることもあります。



複数の医療機関から色々な作用をもった薬が処方され、服用している場合、市販薬や健康食品等との飲み合わせにも注意が必要な場合があります。

こんな心配ごと、ふだんから薬や健康のことを気軽に相談できる薬剤師がいれば安心です。「かかりつけ薬剤師」は、皆さんがこれまでに使用してきた薬のこと、現在お使いの薬や健康食品のことなどを把握して、薬による治療がより効果的なものになるようお手伝いします。

かかりつけ薬剤師ってどうやって探すの?

たとえば、薬が必要になって薬局を訪ねたとき、対応してくれた薬剤師と顔見知りになって色々質問してみたり、薬の相談会などを行っている薬局があれば参加して、かかりつけ薬剤師を探してみるのもひとつの方法です。

かかりつけ薬剤師を活用しましょう!

かかりつけ薬剤師活用法の一例として、在宅医療についてご紹介します。入院治療を受けた後は自宅に戻り、在宅で療養を継続する体制が、国の方針として推進されています。



安心して療養生活が送れるよう、医師や看護師、薬剤師などが連携し、チームを組んで在宅での療養に適したサポート体制を整えています。かかりつけ薬剤師も、薬に関するサポーターとしてその役割を担います。処方せんをお持ちでなくても薬や健康のことで不安があれば、ぜひお住まいの近くのかかりつけ薬局を訪ねてみてください。

必要に応じて地域の医療機関など、さらに詳しく相談できる窓口の紹介もしています。ぜひ、お住まいの近くにかかりつけの薬局を持ち、信頼できる薬剤師を決めて、ご活用ください!

情報提供：鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会 そよかぜ薬局 薬剤師 富永 美香子

■お問い合わせ先

鏡野町保健福祉課 介護保険係 電話(0868)54-2986 FAX(0868)54-2891